



喜多の埜

〽 雛人形と黄櫨染 〽

三月三日は雛祭り。女の子がいるご家庭では華やかな雛人形が飾られている事でしょう。

この雛人形ですが、ここ最近、親王の男雛の装束（正式には東帯の袍（ほう））の色が黄土色のものをよく目にするようになりました。一見地味なこの色ですが、実はこの色こそ日本の服飾史上最も高貴な色とされる「黄櫨染（こうぜん）」という色です。

なぜ最も高貴な色なのかというと、それは、天皇陛下にしか使えない「禁色」に指定されている色で、一般では用いる事を禁じられてきた色だからです。この色は、雛人形に用いられているものは、簡略な物の為、黄土色にしか見えませんが、天皇陛下が着られる本物の「黄櫨染御袍（こうぜんのごほう）」は、光の加減によつて金色に輝く為、「太陽の色」と例えられるが故、最も高貴な色と位置づけられています。太陽とは即ち、世を遍く照らす光であり、その光を着る方は、天皇陛下にこそ相応しいと、古代の人々は考えたのかもしれない。

ちなみに、この黄櫨染を「禁色」に指定されたのは、当神社、御本社の御祭神でもあらわれます、嵯峨天皇さまが弘仁十二年（西暦八二〇年）に制定されたものです。

現代では禁色の制というものは何の拘束力もないので、雛人形の束帯にも気軽に用いられるようになりましたが、その中には、太陽の色を身に纏ったお雛様が、暖かくお子様の成長を見守るようになるといふ願いが込められているのかもしれない。

〽 蛤（はまぐり） 〽

古来より雛祭りには蛤を食す慣わしがあります。これは、蛤の貝殻がピタリと合う事から、将来ピタリの伴侶に恵まれますよにという願いを込めてのものです。また蛤は春が旬である事から、春の味覚としても重宝されます。しかし近年、外来種の蛤が市場を席巻し、平安時代「貝合わせ」に用いられたものといま私たちの食卓に出てくるものとは、見かけは似ていますが、まったくの別物といえます。将来の伴侶も見かけに騙されず、心からピタリと合う人を選びたいものです。

〽 大阪北小学校閉校 〽

大阪市北区曾根崎の大阪北小学校がこの三月十一日で閉校となる事が決まりました。この小学校は元々大阪キタの中心街にあった、曾根崎小学校、梅田東小学校、堂島小学校の三校が合併し平成元年四月に開校した小学校です。しかし、少子化の波を受け、全校生徒数も四十人となり、いよいよ閉校が決まりました。平成に誕生したばかりの小学校でしたが、わずか十八年での閉校に、梅田地域の変容の凄まじさを感じると共に、一抹の寂しさを感じるものです。

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀知

